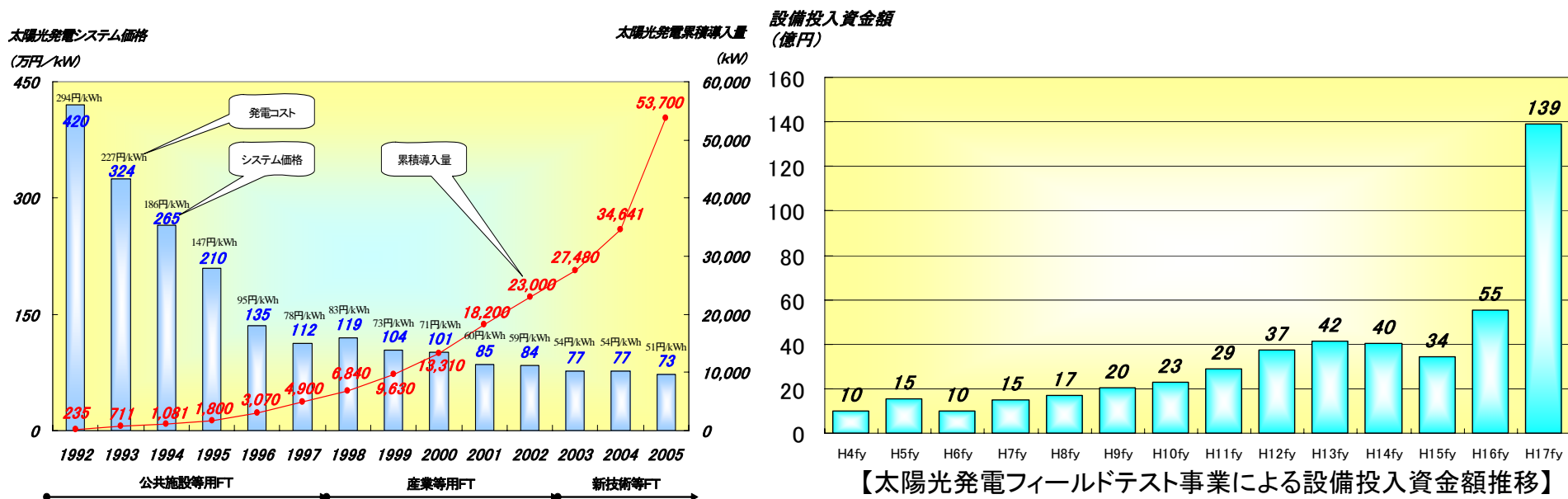


# 太陽光発電フィールドテスト事業の成果と効果の分析

●平成4年度にフィールドテスト事業を創設し産業・公共分野に積極的に支援を行うことにより、事業による導入量は約229倍に拡大し、コストは約1/5以下に低減した。(導入量:235kW→53,700kW、システム価格:420万円/kW→73万円/kW)

●一般にコスト高のため資金投入し難い状況にあって、本事業を実施することにより、これまでに約500億円規模の太陽光発電設備に資金投入され、市場が開拓されたといえる。

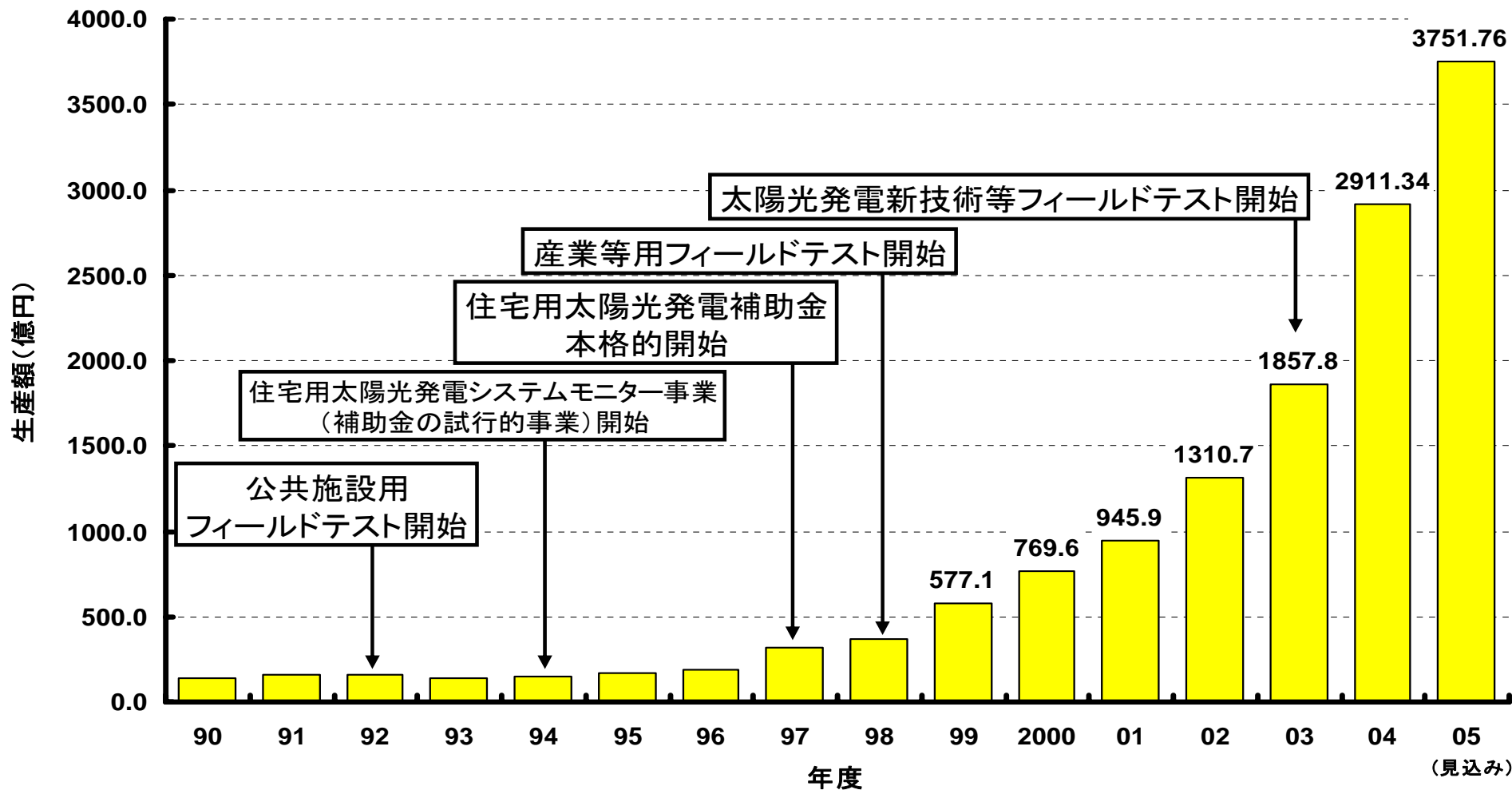


出典: 新エネルギー・産業技術総合開発機構試算

【太陽光発電フィールドテスト事業の過去の実績】

# 太陽光発電の普及促進施策と市場の拡大

フィールドテスト事業や住宅用太陽光発電補助金の開始を契機として、太陽光発電の市場規模は約3,800億円規模にまで拡大。

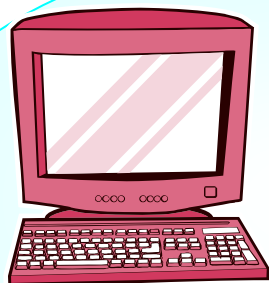


出典:(財)光産業技術振興協会資料

【太陽光発電の市場規模推移】

# 太陽エネルギーシステムフィールドテスト事業の採択について

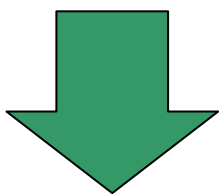
## ●本事業における公募



NEDOホームページ上  
にて公募情報を掲載



日本各地域において  
説明会を開催



民間企業や地方公共団体、非営利法人等の幅広い分野の各種団体等を公平かつ透明性に十分配慮した公募により募集

## ●採択方法

NEDOにより提案を公募  
(公募情報公開、説明会)



NEDOにおける審査



外部有識者から構成される  
**採択審査委員会**により審査



採択決定



採択結果公表(ホームページ)

コスト低減や意義ある事業の実施に十分配慮した審査採択し、速やかにHP上に情報を掲載する等、公平かつ透明性に十分配慮した採択

# 太陽エネルギーシステムフィールドテスト事業の評価について

## ●これまでのフィールドテスト事業の評価結果

・NEDO「事業評価指針」に基づき、NEDO内部による「**事業評価委員会**」を組織し、**事業評価を毎年度実施**している。

(これまでの評価結果のまとめ)

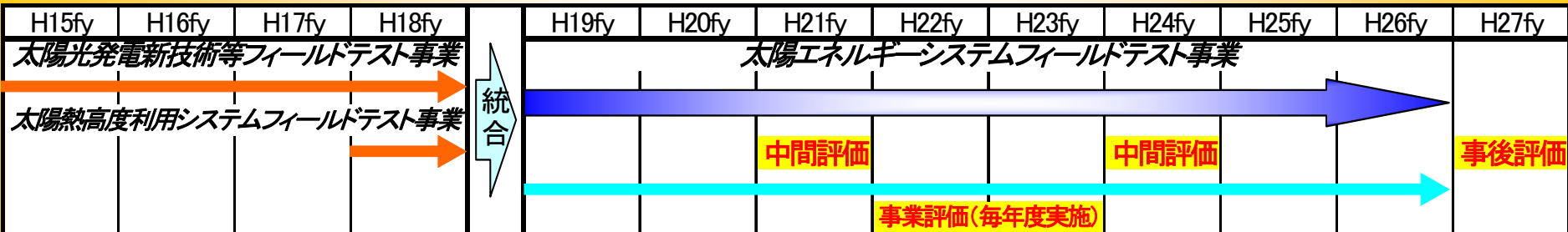
(1) 現状を打開する新しい技術の実証とコストダウンに関わるノウハウを獲得し、市場にフィードバックすることが必要。

(2) 事業の成果と課題について、広くPRする機会や、より意味のある公募スキームの構築を目指すことが重要。

今後は事業評価に加えて、下記評価を実施予定。

## ●今後の評価

・外部有識者による「**評価委員会**」を組織して、平成21年度及び24年度に中間評価を実施し、平成27年度に事後評価を実施予定。ここで、フィールドテスト事業による市場への波及効果等、多様な観点から評価を実施する予定。



# 太陽エネルギーシステムフィールドテスト事業成果の活用のイメージ

今後のフィールドテスト事業がより効果的に実施されるよう、現在、NEDOでは以下のとおり検討している。

## ●現在の検討状況

- ・NEDOが今年度を実施している「**FT事業戦略策定に係る調査**」の中で外部有識者による委員会を組織し、これまでの事業の総括的な検証を行うとともに、今後の事業戦略や展開について検討。
- ・今までの設置・施工実績を集約した**設置・施工ガイドライン**の策定。

